

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年8月28日

【評価実施概要】

事業所番号	270500457		
法人名	有限会社マエダ商事		
事業所名	うめたグループホーム		
所在地 (電話番号)	〒037 0022 青森県五所川原市梅田字福浦475-13 (電話) 0173-27-1331		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成20年6月24日	評価確定日	平成20年8月28日

【情報提供票より】(平成20年6月13日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)15年6月20日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤	9人, 非常勤 人, 常勤換算 人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	1階建ての 階 ~ 1階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	9,900 円	その他の経費(月額)	5,100~冬期8,100 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	200 円	昼食 200 円
	夕食	200 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 700 円		

(4) 利用者の概要(6月13日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1	3 名	要介護2	2 名		
要介護3	2 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	1 名		
年齢	平均 82 歳	最低	72 歳	最高	90 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	富田胃腸科内科医院
---------	-----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業所は同法人が経営する保育園やデイサ・ビスセンタ・に隣接しており、周囲には数件のアパートが立ち並び、郊外に位置しながらも地区住民の往来が多い。静かな環境と活気ある生活感が混在する中に位置し、運動会や納涼祭の行事にも積極的に参加し、交流の場を確保している。又、入居者が主担となり菜園作りを行ったり、買物やドライブ等外出の場面を持ち、閉じこもりを防ぐ働きかけも多く、個々の機能維持と共に、地域の認知症理解に繋げるアクションも起こされている。事業所内は会話が飛び交い笑い声も多く、家庭的な雰囲気に溢れ、入居者の表情も生きいきしている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>理念の構築と、毎日のミ・ティングで唱和しており、職員間の意識も強化され、生活の各場面に於いて実践されている。ケア会議の開催や職員の意見の吸い上げも前向きに取り組まれ、介護計画も共有出来ている。但し、地域密着型サ・ビスの観点からは地域との関わりの強化が望まれ、今後の行事等の活動を通して展開を計画されており、成果に期待したい。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者とケアマネ・ジャ・を中心に評価を行い、改善への認識も強く、優先順位を決め出来る事から取り組んでいる。外出の場を確保し積極的に地域に出掛け、グループホーム自体の存在アピールを心掛ける一方、地域住民の参加可能な行事を計画している。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>入居者の現況報告が主となり、課題についての話し合いや、メンバー間の意見交換、又、提議等は少なく会議の進行に苦慮している状況である。地域との連携を強化するためにも、テ・マを決めて話し合ったり、ホーム側からの要望を積極的に出す等工夫し、サ・ビスの質の向上に反映される事に期待したい。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)</p> <p>面会や定期及び随時の連絡時に状況報告と意見の吸い上げを行っている。又、入居面接時に、重要事項説明や契約の書面を用いて充分説明を行い、家族の協力を依頼している。個別の介護計画上に意見が上手く盛り込まれない事が課題として挙げられ、カンファレンスへの参加を求める等新たな試みを期待したい。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>同法人系列の施設間との交流は確保出来ているものの、地域との関わりは希薄であり、管理者も当面の課題として考えている。有事の際の協力体制を得る為にも、ホ・ム便りを配布したり、事業所を開放する等で日頃から地域との関係作りに努め、認知症を患っても安心して暮らせる地域作りの貢献に期待したい。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域生活の継続支援と地域との関係性を持った理念を作り上げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	見やすい所に掲示し、毎日申し送り後に唱和し、支援にあたっている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	保育園、隣近所との交流はあるものの、グループホームの機能を還元する等の地域貢献は十分とはいえない。		利用者の安全対策及び災害時の応援等も含めて地域との連携・協力は不可欠である。広報紙の配布や事業所を開放し、その機能を地域に知っていただく機会を持つことを第一歩とした地域貢献の取り組みに期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価を行い、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>利用者の状況、行事の報告など行い事業所の理解をしていただくよう取り組んでいるが、会議を活かした取り組みが十分ではない。</p>		<p>会議毎にテーマを決めて開催する事も必要である。また、事業所の特色を伝える場としての活用や、推進会議を地域との関わりをもつ一つの手立てとしての一考につき期待したい。</p>
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議への出席のみで、日常での連携がなされていない。</p>		<p>事業所の良い点はもちろん、悪い点も出しながら事業所が抱える問題点を相談し連携をとる方法もある。相談等の機会を増やし、連携をさらに深め事業所の特色を出してはいかかが。</p>
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>権利擁護等に関する理解が十分とはいえない。</p>		<p>外部研修と共に、内部研修も充実させながら制度の理解を深め、利用者の支援に役立つ取り組みにつき、検討してはいかかが。</p>
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>手順書等を作成し、虐待防止に関する理解や遵守に向けた取り組みがなされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>重要事項説明書等を用い、時間をかけ十分な説明を行っている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>毎月のホーム便り、金銭出納管理状況等を家族に郵送し、利用の状況報告を行っている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>重要事項説明書に明確に記載し、契約時に説明を行い苦情の受付に対して真摯に取り組んでいる。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>法人内の施設間の異動は無い。離職に対しては、入居者に経緯を伝える場面を持ち、理解を得るように努め、引継ぎの期間を設けている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	全職員が研修に参加できる取り組み、配慮がなされている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域ケア会議や外部研修等を通じ、情報交換、交流の機会を持っている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前の訪問で職員との関係作りを行い、在宅での生活様式を大切に、継続した支援がなされるように取り組んでいる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	お互いが協同しながら和やかな生活が出来るように、食事準備やクラブ活動が行われている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>本人・家族の希望や意向を確認しながら、生活を支援している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人、家族等の意見を聞き介護計画を立案しているが、本人の状況等の把握が少なく、スタッフの視点で計画立案されている部分が見られる。</p>		<p>効果的な支援には主観的視点も確かに重要ではあるが、支援が偏りがちになる危険がある。アセスメント表等を活用し客観的視点での評価も行いながら、絶えず支援の質を確認してはいかかが。</p>
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>状態に変化があった場合等の見直しが、適宜行われていない。</p>		<p>職員間の連携はもちろん、普段から家族との関わりを深め、本人及び家族の希望・意向を把握し生活支援される介護計画を立案してはいかかが。</p>
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>随時の通院希望や家族の宿泊希望については、都度受け入れ対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人、家族の希望や利用前から受診しているかかりつけ医で受診出来るように支援している。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>本人及び家族の意向を尊重しながら、かかりつけ医と協同し対応している。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個々を尊重した対応について職員間で話し合う機会を持ち、入居者の誇りやプライバシーを損ねない対応に取り組んでいる。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>生活リズムを尊重し、その日、その時の本人の気持ちを尊重し、個々の生活を支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者と共に調理や材料の下拵えが行われており、笑い声の中で皆楽しそうに食事をしている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>利用者の入浴日、入浴時間は利用者の希望通りに対応出来ないが、介助も含めゆっくりと入浴し楽しめるよう配慮されている。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>それぞれ出来る事は行っていただきながら、一人ひとりの支援に重点がおかれている。又、その日の天候に合わせて外出等を企画し、ドライブなど気晴らしが出来るように支援している。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>利用者の希望に沿い、その都度対応されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	申し送り等でその日のケアを振り返りながら、また言葉がけ等も含め、無意識のうちに身体拘束が行われてないか確認するように取り組んでいる。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	センサー付の玄関チャイムの設置により、鍵をかけないケアを実践している。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	法人間の施設との交流に留まっており、地域との交流が少なく、災害時等の協力体制が不十分である。		運営推進会議等を通じ、地域との交流を積極的に行い、警察や消防との連絡体制も確認し、有事への対応整備をしていくことが不可欠である。又、三箇所の避難口の内、車椅子利用可能な箇所は玄関のみであるため、火災発生場所により避難路が制限され、他の2箇所のうち少なくとも1箇所はスロープ等を設置するなど緊急時に備えてはいか
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分量を確認しながら支援している。また、関連施設の栄養士に随時献立作成のアドバイスを受け、栄養量の確保に反映させている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	過去にノロウイルス感染発症の経緯あり。以来、感染症に関しては手順書を作成、整備しその他の感染症に対しても万全の体制で備え防止に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
		居心地のよい共用空間づくり			
34	78	共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	庭で育てている花等を事業所内に飾ったり、季節感を味わえるように工夫している。		
35	80	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	事業所の備品が大半を占め、私物の持込は殆ど観られず、「家」の感覚が少なく無機質な感が否めない。		私物の持込が多い事を良しとする訳では無く、その人らしい部屋という感覚が望まれる。花を飾ったり、部屋毎にベッドの配置を換えたりする等配慮し個人の嗜好を満足させ、安心出来る空間作りが望まれる。

 は、重点項目。